区政報告 レポート | ほんめの“眼” HOMME'S EYE | vol 33

母子避難所の設置を！

台東区 議会議員

本目（ほんめ）さよ

発行：台東区議会議員 本目さよ 上野桜木2-1-9-6A

本目さよ プロフィール

1982年3月10日生　36歳
私立成蹊高校、白百合女子大学を経て、お茶の水女子大学大学院修了研究テーマは『夫婦の情緒的サポートと育児ストレスの関係」修了後はIT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。2015年に再選を果たす。台東区では唯一の３０代女性議員。声なき声を聞くという意志と、少子高齢化への特効薬としての子育て支援に力を入れていることからキャッチフレーズは「子育て、本命！ーやさしい政策ー」。「議員のあり方」とは何か？を模索しながら区民の方々との双方向的な取り組みを実施している。政策を実現できる超党派若手女性議員のネットワーク「WOMAN SHIFT」代表。一児の母。

党籍：無所属
会派：たいとうフロンティア
資格：保育士
趣味：空手・読書
　　おかしづくり
好きな物：納豆・くだもの

https://sayohomme.com
facebook.com/hommesayo
@sayohomme
http://ameblo.jp/hommeisayo/

さおりとさよ

参議院議員
吉川さおり

台東区議会議員
本目さよ

二人で台東区政について、台東区にも影響がある国のことについて話しました。その一部をお届けします。

吉川さんは防災にも力をいれているんですよね？

はい。初当選の時から災害対策特別委員会に所属し、防災・減災への議論を重ねてきています。

今回は私からは母子避難所の設置と災害対策としての母乳育児支援、それから保育園の災害対策について提案／質問をしたんです。

母乳育児？それは出ない人もいるのでは？

もちろん、ミルクでも母乳でもどちらも立派な子育てですが、災害時に限れば母乳は非常に便利です。ミルクはガスボンベとミルクと清潔な哺乳瓶が必要です。もちろん備蓄も必要ですが、母乳があれば母子ともに安心できるので、母乳育児を阻害するものはなくしたいなということで、公共施設の授乳室をもっと整備すべきと提案しました。母子避難所もやはり必要だと。

30歳で参議院議員になった吉川参議院議員と29歳で区議になった本目さよとは年も近く話も盛り上がりました。

大事なことですね。私も国会でエレベーターについて質問もしました。実はエレベーターの中に閉じ込められた場合の救出の優先順位って業界任せで国としての基準がないのですよ。

え、それは怖いですね。乳児連れの保護者の方でも後回しの可能性もあるってことですよね？

そのとおり。防災って命を守るものなの。そもそも政治の役割は命や財産を守ること。しっかり取り組みます。

私も吉川さんと連携をしながら、取り組んでいきます！一緒にがんばりましょう！！

子連れにやさしい施設のチェックリストを一緒につくりませんか？

「授乳室、狭くてさらに荷物を置く場所も、掛ける場所さえない」
「パパだけでトイレに行ったらオムツ替えシートがない」

こんな経験はありませんか？
一般質問で区長に子連れにやさしいトイレや授乳室はどうあるべきか？区としての基準をつくるべきでは？と提案したところ、ガイドライン的なものをつくります！と答弁をもらいました。そこで、子育て中のみなさん。一緒にどんな施設だったら使いやすいか一緒にワークショップを通じて考えてみませんか？ワークショップで出てきた答えは区役所に渡しに行きます。参加できない場合もぜひアンケートフォームでご意見お聞かせください！

日時・場所　２月１０日（日）入谷区民館　和室　１０時～（受付は９時４５分から）
　　１１日（祝）谷中区民館　和室　１０時～（受付は９時４５分から）

参加の方は右のQRコードからお申し込みください。わからない方は本目さよ　ブログで検索を！
アンケートも同じくQRコードから。参加できない方もぜひご意見をお聞かせください。

母子の災害対策の充実を！

授乳室の充実を！区長に提案

◆本目質問　母子避難所
　文京区では母子の災害対策について話し合うプロジェクトを立ち上げ、母子避難所を設置した。
そこで本区でも、**母子避難所の設置に向け、協議会やプロジェクトを立ち上げるべき**と考えるが、どうか。

◆答弁
　避難所運営委員会と連携し、母子等に配慮した避難所の生活環境の検討や粉ミルク等の備蓄を行っている。母子避難所の設置については地域の皆様との一体性や立地の利便性などの課題もあるが、他の自治体の動向も見つつ、**あり方について検討**をしていく。

◆本目質問　授乳室整備＆ガイドライン作成
　母乳でもミルクでも世界的な流れとして母乳育児の重要性が見直されており、日本でもその傾向であるが、外出先で授乳できる施設は限られていることが課題となっている。そこで、これから改築や改修をする公共施設はもちろんのこと、今ある施設についても母乳育児サポートとして**授乳室の整備を進めるべき**と考えるがどうか、区長の所見を伺う。
　また、今後、**授乳室の整備や男性トイレへのおむつ替えシートの設置など、子育てしやすい設備を設置する際に、利便性を高めるための詳細な基準やチェックリストを作成して整備を進めていくべきと考えるがどうか？**

◆答弁
法定で授乳室の設置については定められているが、それ以外の施設についても状況に応じて整備を進めている。現在未整備の施設については調査の上、順次検討をしていく。また、**ガイドライン等を作成し、子育てに必要な使いやすい設備の整備をすすめていく。**

児童虐待の予防のために性教育を！

◆本目質問　虐待からの回復プログラム
　児童虐待については、虐待をしてしまった親への支援が必要である。一時保護所で保護された児童が家庭復帰したときに、その親が虐待せずに済むようなサポートが重要であり、その親への支援として「マイツリー」プログラムなどの回復プログラムがある。そのような**親を支えるプログラムを実施すべきと考える**がどうか？

◆答弁
　回復プログラムについては、スケールメリットや、対象となる方を参加に結び付けるための課題等があることから、今後、研究していく。

◆本目質問　性教育の充実
　虐待の背景にある予期せぬ妊娠を避けるためには、性に関する正しい知識をより早い時期から子どもに教える必要がある。また、一昔前と異なり、タブレット等の普及により、３歳くらいからすでに性の情報に接触する機会が格段に増えている。区として、一層の啓発に取り組むべきと考えるがどうか。
「いちゃいちゃ　動画」でぜひ検索を試して！

◆答弁
　今後も、情報交換会などの機会を捉えて学習内容の周知を図るほか、性に関する学習を希望する保護者のニーズに対応できるよう、学習情報の提供や講師の紹介などの支援に取り組んでいく。